

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和3年10月28日（木）16時00分～16時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官※、磯田係員、松末技術参与

北海道電力株式会社：藪執行役員 他7名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所 火山影響評価について（令和3年10月14日審査会合における指摘事項）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁谷です。面談を始めたいと思います。今日の面談の内容としては、泊発電所火山影響評価についてということで、
0:00:14	今月の10月14日の審査会合における指摘事項のラップアップということで行いたいと思います。まず資料をいただいてまず資料説明をお願いします。
0:00:30	ダイドー電力の松村です。今ほど谷さんからあった通り、火山影響評価の10月14日審査会合におけるラップアップということで、よろしくお願ひいたします説明はミノワのほうからさせていただきます。
0:00:47	はい、北海道電力ミノワです。資料について説明させていただきます。事前にお渡ししている資料は裏表1枚ものになります。めくっていただいて裏お願いします。
0:00:59	先日の10月14日審査会合除ける指摘事項をまとめて11項でまとめてございます。
0:01:05	上から読み上げさせていただきます。一つ目、地理的領域内にある第4紀火山、34火山の活動履歴に関する最新の知見について網羅的に反映させること。
0:01:17	一つ目、原子力発電所に影響をおよぼし得る火山として抽出していない火山21火山の評価結果を本編資料に記載すること。
0:01:26	三つ目、敷地から2点を雷電火山群までの距離をニセコアンヌプリまでの協議としている考え方を示すこと。
0:01:33	四つ目、洞爺火砕流の末端部分が、共和町幌似付近であるとしているが、これは火砕流堆積物が削剥されている可能性も考えられることから、
0:01:43	洞爺火砕流の末端に関する評価について、文献及び地質調査結果を踏まえ再検討すること。
0:01:49	また、関連するボーリング柱状図及びボーリングボーリングコア写真は、補足説明資料に掲載すること。
0:01:57	進め支笏カルデラ及びニセコ雷電火山群の火砕流堆積物について、過去からの距離と層圧の関係を整理すること、また洞爺カルデラについてはすでに同趣旨の整理を行っているが、ほかに関連する文献がないか確認すること。
0:02:12	六つ目、火山性地震及び地殻変動に関するデータについて、至近のデータも追加して整理すること。
0:02:19	七つ目、地下構造に関する調査は、手法ごとに特徴が異なることから、
0:02:24	洞爺カルデラ及び支笏カルデラの地下構造については、地震波速度構造だけではなく、
0:02:29	重力構造に抵抗構造等の知見も踏まえて総合的に評価すること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	八つ目、原子力発電所の運用期間中における活動可能性が十分小さいと判断できない方、13 火山について、
0:02:43	設計対応不可能な火山事象の到達距離及び分布範囲を個別に示すこと。
0:02:49	この爪にて御雷電火山群の地震波速度構造に関する検討について、溶岩流に関する個別評価のみに用いているような記載となっているが、
0:02:59	本検討を溶岩流に関する個別評価以外にも用いているのであれば、その位置付けが明確になるよう資料を適正化すること。
0:03:07	突っ込め敷地及び敷地周辺の降下火砕物について文献及び地質調査結果を踏まえ、分布及び層圧を網羅的に示すこと。
0:03:16	※原子力発電所の火山影響評価ガイドに基づき、モニタリングの資料構成上の位置付けを適正化すること。
0:03:24	以上 11 個で指摘事項をまとめてございます。説明は以上となります。
0:03:32	規制庁タニです。それでは
0:03:37	指摘事項の趣旨ということで
0:03:42	規制庁側から、これ意見を言って生きていきたいと思います。私がコメントしたことをからちょっと先に売っていきこうと思いますけど。
0:03:52	No.1 なんですけども、
0:03:56	活動履歴に関する最新の知見について網羅的に反映させることっていうことで細かく書かれてるんですけど、これは二つ言っていて、最新の知見、最新の知見がちゃんと反映されているかと。
0:04:11	いう話と、そもそもある今ある知見今あるというかも当時からある知見の網羅性っていうものなんか二つ、コメントしたつもりなんですけど、その辺の
0:04:24	趣旨はわかってますよね。
0:04:30	はい。うん。あとはだから先行サイトの知見だとかもちゃんと見て網羅的に反映させてくださいということなので、
0:04:40	はい伝わってればそれでいいんですけど。
0:04:48	ワタナベはい。主旨認識してございます先行サイトも確認することに加えて、
0:04:54	これまでに資料化されているものも含めて、改めて体系的に網羅的に文献を整理しようと考えてございます。以上です。
0:05:05	はい、規制庁タニです。
0:05:07	あとですね。うん網羅的っていうところが、私の方からもコメントしたし、そのあとニシキですね等々、ニシキの方からもコメントしてて、そのニシキのほうは、
0:05:22	巨大噴火の可能性のところ、
0:05:26	も同じように、文献。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:29	調査の網羅性っていうことを言ってこれ結構具体的にどういったデータベースから拾ってきましたかとか、そういった何を拾ってきました関係あるのはなんで。
0:05:42	通常のナイトウですけれども、特に気企業つけなきゃいけないのは、巨大噴火のところですけども変わって改正したガイドって、
0:05:52	どっかいってるかっていう理解されてますか。
0:06:03	完成したガイドの要求 2 を満足するような形できちんとやってくださいっていうのはコメントの趣旨です。
0:06:12	巨大噴火についてもきちんと検証するということと、噴火をするという具体的な知見がないということについてきちんと精査おっしゃした上で判断しましょうとなっているんですけど。
0:06:26	どういう範囲について、きちんと精査したのかってのがわからないと、具体的に危険があるんじゃないかと言っているような文献がピックアップできるような精査をしたのかどうなのかがわからないんですよ。
0:06:43	そうすると、そういう知見が精査し切れているのかどうなのかってのはわからないので、
0:06:50	皆さんは何でそういう知見がないというふうに判断したのかということについてきちんとわかるように、
0:06:59	どういう範囲を精査しなきゃいけないというふうに考えてそれをきちんとやった結果としてなかったっていうことをきちんと示してくださいってことなんですけれども、
0:07:09	趣旨はよろしいですか。
0:07:13	すみません、渡辺です。もうガイドのほうの 10 ページの解説 11 のところの現在の火山学の知見に照らした調査を尽くした上でというところの
0:07:25	内容かと認識してございます。こちらに関しましては、やはりどのようなカタログ類をどのような検索エンジンを用いて、文献を検索して何が抽出されるのかといったところをわかりやすく示していく必要があると考えてございまして、
0:07:40	それも資料の中で御説明できるようにしていきたいと考えてございます。
0:07:44	また巨大噴火の可能性に関する文献の
0:07:48	網羅的な反映というのもこの指摘事項の一番に入っているというふうな考えていたんですけども、確かにこの辺の巨大噴火の部分が見えにくい部分もあるので、巨大噴火に関する知見に関する指摘事項という形で切り離して、
0:08:03	具体的に見えるようにさせていただければと考えてございます。以上です。
0:08:10	規制庁タニです。私が確認したかったのはまさにそこだったんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:15	そうですね巨大噴火のところにも網羅的について話をしているっていうのがですね、調査をし尽くしてっていうことがなされていることがですね、わかるようにということが指摘の趣旨だったと思いますので、それわかるようにしていただけたらと思います。
0:08:34	続いてなんですけど。
0:08:36	No.2 はまあまあ言ってみたらこういうことなんですけど
0:08:43	本編資料に記載することっていうのがですね、どういうイメージで考えられてるかっていうところなんですけども本編資料の中にこれを
0:08:52	なんて言うんですかね、補足をそのまま持って来てくださとかいう話ではなくってちゃんと本編資料で考えて評価の流れがちゃんとわかるようにしていただきたいということで指摘してましてこれは多分図だとか表だとか、そういったものも加えて、
0:09:09	評価されるのかなというふうに思ってるんですけどそういう認識でいいですか。
0:09:15	ワタナベです。はい本編資料の中で明確に 34 火山についてどういうふうに抽出対象を絞ったのか見える化しようと思っております。具体的には活火山は通れば、
0:09:27	それぞれ活火山じゃなかったとして、活動期間があったときに最大休止期間に対してどうなんだといったところを見る形で 34 火山について整理してお示するそのエビデンスが補足の 1 相のダイアグラムであるという形にしようと考えております。以上です。
0:09:44	はい規制庁タニですが趣旨が伝わってると思いました要するにこう外している火山がどういう根拠で外されているのかっていうのがですね、しっかりとわかるようにしていただきたいということですので、伝わっていると今思いましたので、お願いします。
0:10:04	あとは、私のほうの 5 番と 8 番っていうのが、これ多分開口で続けて言ったような
0:10:15	ことかなと思うんですけど。
0:10:17	5 番、8、8 番が 8 番がまず説明していただきたいことなの、ちゃんと設計対象不可能な火山事象がどういった範囲で到達しているのか、回程ワタナベさんの答えられてましたけど、
0:10:33	一部は、あの表とかになってるんだけど、わかるようにしますっていうようなことを答えられてたと思うんですけど、それに加えて、特に支笏とか、ニセコ雷電或いは洞爺ですね、これについては火口からの距離と層圧の関係が、
0:10:50	わかるように整理していただきたいと言ったコメントですので、まあまあ、これは

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:55	この書かれている趣旨書かれている内容で趣旨は伝わってると思いますけど、よろしいですよ。
0:11:04	ワタナベです。はい、認識してございます。
0:11:10	はい。続けて私言ったのが10番なんですけれども、
0:11:15	これですね、言葉にするとこういう言葉かもしれないんですけど。
0:11:20	特にをちゃんと整理して欲しいのがこの地質調査結果を踏まえていうところなんですけど、多分御社のほう資料を見ていく限り一次データで記載しているようなものをさらにまた評価とかをして、
0:11:35	きっとこれは火山灰の層圧として見ていないとかそういうことを多分今の資料を見る限り、
0:11:42	されてるんだと思うんですね、1次データで火山灰っていうふうな記載がいろんなところにあるとそれがどういう評価になってるのかっていうのをしっかりと説明はしていただきたくて、それを踏まえて、
0:11:59	ここは分布及び相当網羅的に示すことって書いてるんですけどちょっとなんかは、具体的に言うと何ですかねマップだとかそういったものでわかるようにしていただきたいと。
0:12:12	考えてるんですけど、その辺の認識は伝わりましたか。
0:12:19	すみません、渡辺です。はい。降下火砕物についてはタニさんが御指摘されている通り、当社の調査結果でいくと、例えば火山灰の降灰層準に相当する箇所っていう言い方であったり、それ純層と違うものと見てるんですけども。
0:12:34	それらはどういう評価をしているのか、その上で、その分布位置はどこなのかという所位置図に示す。そして厚さに関してはそれぞれの評価した厚さがどれくらいなのかといったのを一覧表に示すというような形で整理していければと考えてございます。以上です。
0:12:53	はい、規制庁タニです。説明ではさ、層準を示してるんだっていう話されてましたけど柱状図とかスケッチ見ると明らかにも火山灰ってはっきり書いてるんですよ。だからそれはちゃんとですね。
0:13:08	どう等当時の判断がどうだったのかっていうのがわかるようにしていただきたいというところなのでよろしくお願いします。
0:13:25	規制庁ナイトウですけども、えっとね、結局、
0:13:30	支障の兵働黒土の下のな存在しないと言っている火山灰層と言ってたやつが、或いは層厚一応扱ったから急減わからないものでっていう話でそれを取ってただけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:45	あれがないって話になったときにいっぱいあるんですよ、火山灰相当皆さんが言ってるやつする敷地内のスケッチにしろ、敷地内のボーリング柱状図にしろ、敷地外の注意周辺の柱状図にしろ、給源わかってない。
0:14:02	わかってるわかってない含めて相当数、
0:14:05	火山灰層という記載があります。しかも相当厚いものがあります。それらについてどうするのっていうのが全然わかんないので、そういったものも含めてきちんと周辺の火山事象として到達してるものとしている火山灰としてはどういうものがどういう高圧されどう分布してるんですか。
0:14:24	わかるようにしてください、そういう趣旨ですので、
0:14:27	よろしくお願いします。
0:14:30	ワタナベです。はい、承知いたしました。
0:14:42	規制庁タニです。
0:14:44	あと十一番はこういった内容でいいと思うんですけども、多分伝わってると思うんで、えっと、あとは三番四番とか今後この辺り
0:14:55	ニシキさん、今ウェブで参加されてるんですけど、何かのコメントありましたらお願いします。
0:15:05	規制庁のニシキです。聞こえますでしょうか。
0:15:09	それと私のほうから農耕面、
0:15:13	そういう意味で、No.3 がまずありまして、これは敷地からの距離、これマイナーコメントでしたけれどもその辺の考え方を示してくださいということで、ちなみにお礼は介護中だと、イワオヌプリとの距離が 20
0:15:29	一番とかいうお話されてましたけど、それはそうだったんでしょうか。これは実際あと会合とかの資料で見せていただければいいんですけども。はい。
0:15:41	ワタナベです。
0:15:43	はい。この距離の関係に関しまして、今の 21.5 というものが何を使っているかということなんんですけども。
0:15:52	バックデータとしては、第 4 紀火山カタログ委員会変位し救急これに掲載されている各火山の緯度経度から距離を算出しているというものになりますが、施工雷電火山群についてはこのカタログ委員会編ですと標高が最も高いニセコアンヌプリの座標が示されているという状況になってございます。
0:16:12	敷地との距離については、
0:16:14	今のガイドに照らし合わせますと、噴出噴火中心活動中心ですね。
0:16:19	それからの距離を示すのが適正だと考えてございまして、現在の活動中心であるイワオヌプリからの距離とすることがより適切な記載であろうと考えまして考えておりますので、その旨がわかるような注釈を付した上で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:35	今日に関して修正をさせていただければと、このように考えてございます。以上です。
0:16:42	規制庁につきですが、そしたら、やはりもともとの座標がそうだったということだったということで、あえてこちらで握手したものと同じかと思いますので、その辺資料の性格を使うお願いいたします。
0:16:57	南保コメントコメント4のところですけども、これについてちょっと長い文章で書いています。
0:17:07	いただいておりますけどもおよそこういう内容を
0:17:10	私のほうから指摘させていただいたと思います。ここでいくと資料、
0:17:18	関連をするボーリング柱状図とかコア写真を掲載するところです。具体的にどう評価する解釈といいますかそこら辺についてももちろん
0:17:29	加えるということをお願いしたいということで、もう一つつもりなんですけどそのあたり伝わってますでしょうか。
0:17:37	ワタナベはい最終的にはその削剥された可能性というところに関して、岩内部屋などで実施しているボーリングのコアの再確認、コア写真コア柱状図も再確認ということをしていくんですけども削剥された可能性というところは解釈になってよかったと思っておりますのでそこについては、
0:17:55	記載をさせていただく予定でございます。以上です。
0:18:01	規制庁ニシキです。そのどうか伝わっていた理由ことで、
0:18:06	確認できました。そしたら次ですけどもNo.6 孔難聴だけすみません、ちょっと関連して、
0:18:15	ですけど、これ
0:18:18	北電の資料でさ、文献及び地質調査結果を踏まえ再検討することって書かれてるんですけど。
0:18:27	これ何て言うんですかね評価を再再検討するというような口頭で言ってないんじゃないかと思ってまして、
0:18:37	これっていうちゃんと知見をちゃんと見ているんだけれども、地形知見をちゃんと踏まえてるんだけどこういう評価になっているのかどうなのか、そこまずちゃんと説明して欲しくて今のこの何て言うんですかね。今の評価がおかしいとか、そういったことを話し
0:18:56	えたつもりはないんですけど回会合ですなだから再検討っていう言葉じゃないんじゃないのかなと。
0:19:04	規制庁ナイトウですけども、これはね、文献ではもっと近くまで発電所近くまで来ていたという評価結果もある中で、
0:19:13	ぶつ相としての地質調査結果の結果、結果としての範囲

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:22	を踏まえて、
0:19:24	どこまで到達していたと考えるのかということについてきちんと整理をして説明をしてくださいという趣旨ですので、よろしいですか。
0:19:36	ワタナベ承知いたしました表現見直します流れとして認識、理解できましたまず文献を調べた結果として、分布範囲として幌似より西側まで来てるというものがある。その上で当社の調査結果応答解釈するのかといったところの流れがわかるよ。
0:19:51	また指摘事項も修正させていただきます。以上です。
0:20:00	規制庁ニシキですか。はい。
0:20:02	それがちょっと私の方で再検討っていうのはそういった
0:20:06	ニュアンスはちょっと確かに今
0:20:11	指摘、確認した内容のほうが正しいのではよろしく願いいたします。したらですねNo.※コメントNo.6 のところで、
0:20:22	マーケット火山性地震と地殻変動データについて、直近側データも追加して整理してくださいというようなコメントをしたんですけど、ちょっとあの会合の中でやった既設の直近近い側だけの話だけで、
0:20:37	伝わってしまっていると思う。ちょっと私、
0:20:40	十分話聞いてなかったかもしれないんですけども、いわゆるそのデータがどういったデータの期間が使えるデータなのかというようなことも含めての話ですので、当然 2008 年までじゃなくて、2020 年に新しい側引っ張っていただくっていうのもあるんですけども。
0:20:59	逆にその不備がですね開始なんです、その辺もどどの期間ぐ過去、例えば 1900、2000 年ぐらいからの 20 年ぐらいのデータだば比較でき信頼性が高いので機関として見る見れば、十分評価できますよとか、そういったこともあると思いますので、
0:21:18	その辺新しい方だけでなく少し開始時期の方も含めてデータ、どういった範囲で整理すればいいのかということについても含めてちょっと考えていただきたいというのが趣旨として
0:21:34	コメントしたかったところなんですけれども、その辺り、
0:21:37	いかがでしょうか。
0:21:42	ワタナベはい、承知いたしました資金だけではなく、今はもう用いてるデータの最も古いもの、それより以前のものが使えるものなのか、信頼性があるものがあるんであればどこまで使うかといったところ明確するように整理をしていきたいと思います。またこの指摘事項についても修正をさせていただきます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:04	規制庁ニシキです。開梱な稼働が近いほうだけニュアンスですけども、基本、キカンデータ取ってる期間というニュアンスが
0:22:12	伝えたかったところってということですね、すみませんがよろしく願いいたします。
0:22:18	銀行面をNo.7 番のところですけども、これは地下構造調査がちょっと
0:22:26	不足といいますか一つの手法だけで検討しているということがあるので総合的に
0:22:34	見てくださいみたほうがいいんじゃないでしょうかというコメントさせていただいたところですのでこら辺についてのことばかり言っているのではないかと思っております。
0:22:45	はい。
0:22:47	次のNo.9 のコメントですけども、
0:22:52	これについてはちょっとニセコ雷電火山群の
0:22:57	地震動は地震波速度構造の検討が溶岩流のところだけに入っているように見えたのでってことで説明後、そのあとの回答の中で、そうじゃなくてほかのところも、
0:23:11	それを委員をするという形で使うってことで説明いただいたんですけどもその辺が見えるようにしてくださいということでしたので、そのあたりは、
0:23:21	頂上文章としては書かれているのかなと思います。ちなみにこれどういった形で整理されるようっていう方向性とか、
0:23:30	ありますでしょうか。
0:23:34	ワタナベです。はい、この内容については、会合で御指摘いただいた通り、溶岩流の中にそもそも入っていることがなじまないということと、井野さんの設計対応不可能な火山事象の到達する可能性の章になってくるんですけどもそこで
0:23:50	地下構造に関して論じているということをやはりなじまないの、審査会合でもホシていただきましたようにまずこの当該章の冒頭のほうに持っていくということと、当該事象の中で、
0:24:03	ニセコ雷電は位置関係として非常に敷地に近いので、
0:24:08	過去最大規模以上のマグマだまりというものが存在する可能性をあくまで参考として見てみようというような形の位置付けにして、
0:24:18	例えばその当該省の
0:24:20	エビデンスについては巻末のほうに持っていくというような形で明確にその位置付けをわかるようにしてようがありの中ではなく冒頭でそれを歌うエビデンス

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	については巻末入れるというような構成にしようと考えてございます。以上です。
0:24:37	規制庁ニシキです。
0:24:40	ちょっとたらあれですけど、私がもうちょっとそこでコメントしたその企業最大状況だけの国家の可能性を検討していくと、どこに説明をしてもらえますかっていったところについては、
0:24:56	No.9の中に含めて書かれていて、それはその冒頭の部分にまとめて入れ込もうというお考えということでよろしいですか。
0:25:08	ワタナベそのように考えてございますニセコ雷電自体が過去に巨大噴火をしているものではないので、巨大噴火の可能性検討というものは本来するものではないんですけども、敷地に近いということ踏まえて、既往最大以上の可能性があるかというところを参考で見ているというふうに応答で、
0:25:26	歌うあくまで参考というふうにしたと考えております。以上です。
0:25:32	規制庁ニシキです。
0:25:35	아이폰とかで私最後ちょっと発言したかもしれないんですけどもモニタリングとの関係性といえますか、その辺り、
0:25:45	についても、そこに
0:25:48	含めて考えるという整備されるということですか。
0:26:00	すみません渡辺です。モニタリングの関係性というところで、すみません私ちょっとハーグしきれてないかもしれないですけど、その辺のニュアンスもう一度教えていただいてもよろしいですか。
0:26:12	規制庁ニシキです。何といたしますか
0:26:16	モニタリングでどういったものを見てなんかニセコ雷電火山群がどういった活動をしていて、
0:26:24	いて、どういった
0:26:27	設計対応不可能な事象があってそれがどういった
0:26:32	ところまでは到達しているのかとかいうようなことがあった上で、じゃあ実際そのモニタリングをする上で、
0:26:42	するかしないかというのがあるベースで、
0:26:45	モニタリングをするとなったときには、何といたしますか。
0:26:52	それが、
0:26:54	款監視できるかどうかということにも絡んでくるので。そこら辺のデータの回答ですけど、ニシキ制、すみませんちょっと私うまく説明できないと、お願いします。なんか変な話になっちゃう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:09	御海軍で困るんだけど、11番のところでね立地評価は立地評価としてあって、立地評価で設計不
0:27:20	下のもうな事象が再発電所に到達した可能性が否定できないものについては、じゃあ、その事象が発電所に今後起こり得るのかどうなのかっていうのを評価した上で、
0:27:38	今そういうこと状況になってるのかなってないのかというのをまず立地評価として評価をします。届く可能性があって、今、そういうものが起こり得る状況にあるっていうのであればそれ立地負荷です。まずは、
0:27:53	その上で、じゃあ今過去に届いたかもしれないんだけど、それはそのような火山活動は現状起こることはないって評価できるのであれば、現状の状況に変化があるかどうかについてモニタリングで確認をするというのが、
0:28:13	考え方です。その中で当てはめたときに、この溶岩の話もそうなんだけど、過去の溶岩噴出量っていうのはどういうものがあるかってそれを発電所に届いている可能性があるんですかいないんですか。
0:28:27	それはまず確定させなきゃいけないって、じゃあ、その先としてね今北海道電力がやっている過去の既噴出規模以上のものの溶岩流っていうのはどういう位置付けなのか。
0:28:43	規制で要求しているものと大分違っちゃってる位置付けのような気がするんだけど、その五つ費その検討の位置付けは何なのかっていうところがまず明確にしなければいけないって、その上で、
0:28:56	これニセコ雷電火山群だけにそこられた火山群として、現過去に
0:29:06	デッキ付加の事象が届いている可能性が否定できるのかできないのかということと、
0:29:14	届いている可能性が否定できないのであれば、現状を届くようなものが起こり得る状態にあるのかないのかっていうところまず明確にした上でどこにはどういう仕様入れ込むのかっていうのは整理して欲しいっていう、そういう趣旨なんですけど。
0:29:36	ワタナベです。すいません、承知しました。今の推進派に施工自身はっていうものについては、確かにちょっと宙ぶらりんな位置付けになっていて、当方の考え方としては、過去の実績ですとか、当社の地質調査の結果を踏まえると、
0:29:54	過去に設計対応不可能な火山事象ニセコの火山事象は敷地に届いていないと主張してございます。であれば骨モニタリング不要なんですけど、敷地に近いことを踏まえて念のためやりますというのが一つパッケージとして完結してございます。その中でも地震なんていうのは確かになじまない感じになってしまうので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:11	どこに入れるのがよりいいのか。
0:30:13	もう少し考えさせていただいて、適切な場所に
0:30:17	既設の記載では見込めるようにもう少し検討させていただければと考えてございます。以上です。
0:30:32	規制庁ナイトウですけど、モニタリングとしてモニタリングが前提になっちゃって前の子の評価が出そうなるから、そこにやっぱり引きずられていると思うんですけども、
0:30:43	前一定程度の評価できましたねって言ったときには、立地評価をするに当たってもリットリングをして提供がないことを確認し続けるので立地評価として丸っていうそういう記載になった。
0:30:59	ていたんですよ昔、
0:31:01	であれば、すぐ早い時期に泊は火山は終わらせているので、
0:31:06	ただ、それは巨大噴火の話とか、そういったものを整理していく中で、モニタリングの位置付けとはどうすべきなんですかってのは、整理がされていて、あくまでも立地評価として、
0:31:26	過去に届いていた可能性が否定できないんだけども現状そういうような火山事象は起こらないと評価をできる。
0:31:35	上で、その評価の状況に変化がないことを見ているんだということがモニタリングの目的ですとなっているので、その辺に合わせて、どういう形でニセコ雷電。
0:31:48	モニタリングを位置づけるべきなのかってのは、もうちょっと整理して欲しいんですけども、
0:31:55	個別承知いたしました。そのようにさせていただきます、もう少し検討させてください。ありがとうございます。
0:32:16	規制庁ニシキですけども、それは私のちよつとうまく、説明話ができなかったところ、今、
0:32:24	内校長洗缶からいただいた内容が、私もそういう趣旨で伝えたかったところになります。
0:32:31	私は確認したかったところは以上です。はい。
0:32:58	規制庁タニですけど、ちょっと会合で言ってはないんですけど、多分
0:33:04	最後に委員が
0:33:08	影響評価の話もちらっとされたと思うんですけどこれ例えば、
0:33:14	支笏だとかに施工だとかでコメントしてる内容っていうのは、
0:33:20	食ったらどうかとかくっちゃろうですね、
0:33:24	火山灰のときに評価している。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:28	そういった火山にもう何か共通する点があるんじゃないのかとか、私は思ってますので、ちょっとそういったことも考えて、今回のコメントを今回は立地評価だけの審査にはなってますけれども、関連するようなところは事業北電のほうで考えていただけたらと思います。
0:33:56	ワタナベ承知いたしました。
0:34:05	規制庁の伊藤ですけれども、所を今回の会合で立地の部分。
0:34:12	やったんですけれども、立地がないとその後ろ議論できないのでっていう話して立地絞ったんですけど、今回立地についてコメントしますと出てそれを反映したりつつの分布等影響評価をセットで
0:34:27	持ってこられた。
0:34:29	持って来てくださって書い工程いいコメントしてますけどそういう方針で今後資料作成はされるという理解でよろしいですか。
0:34:42	北海道電力イズミでございます。まさにそういった理解しております。
0:34:48	指摘に対して立地については指摘を反映した上で資料化した上で、影響評価、それから別位置付けになりますモニタリングの考え方、モニタリングの方法についても、まとめて御説明さしあげたいというふうに考えております以上です。
0:35:06	。
0:35:07	はい。規制庁のひとつよろしくお願いします。
0:35:10	言うまでもないと思いますけれども、火山灰の降灰とかそういう
0:35:15	分布とかについてもちゃんと最新知見、
0:35:18	反映していただいて、今の知見に合わせてどうなってるのかということも含めてリッタ影響評価の部分は作って、
0:35:27	ください、お願いします。
0:35:31	はい、承知しました。
0:36:06	規制庁タニです。
0:36:08	一応趣旨の共通認識を入れたということで、こちらのほうからは以上なんですけれども、何かあれば、
0:36:22	北海道電力、泉でございます。特に追加で当方から確認したい事項ございません。
0:36:31	はい。それでは面談を終わりたいと思います。お疲れ様でした。
0:36:37	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。